

# 青森県六ヶ所村レポート

10月2日から5日までの日程で、原子燃料サイクル施設の立地と振興方策について調査する目的で青森県六ヶ所村を訪問しました。調査団と日程、六ヶ所村の概要は別記のとおりです。なお、この調査は電源三法交付金の一つである広報・安全等対策交付金を充てて実施しました。

## 原子燃料サイクル施設

原燃PRセンターで施設の概要説明を受けた後、実際に施設を見せていただきながら具体的な説明を受けました。調査員は、施設の安全性や管理体制を中心に活発な質問をしていました。高レベル放射性廃棄物管理センターでは、あるゆること（航空機事故など）を想定さ

れた対策（天井や外壁の厚さを1m以上とする。気圧の調整による流出事故の防止など）が講じられており、信頼のおけるつくりとなっていました。ガラス固化体の受け入れについては、調査時点で1180本（容量1440本）が返還収納されており、今後は貯蔵能力拡大のため施設をさらに4棟建設する計画とのことでした。

## 六ヶ所村役場・農業委員会訪問

六ヶ所村長をはじめ、農業委員会会長以下3名の農業委員の方々、農業委員会事務局長にご対応いただき、企画調整課の方から原子力関連施設の誘致経過と現状について説明を受けたあと、主に施設誘致と農業の関連性につい

ての意見交換をしました。六ヶ所村における電源三法交付金を活用した農業施策については次のとおり。

農道や排水路の整備及び野菜保冷库や洗浄選別機の導入。（米軍関連基地交付金も併せて活用している）

地元特産である長いもを使った焼酎の製造工場整備（現在は九州の



酒造メーカーへ委託している）

その他、堆肥盤施設整備や農業機械購入に対する一部助成などを行なっている。

また、離農者については高齢のための離農がほとんどであり、原子力関連施設受入による風評被害等が原因ではないとの話です。ただ、農業後継者の原子力関連施設への就職が増加傾向にあるようで、跡継ぎが不足してきたという面から農業は先細りの状況にあるとのことでした。

## 文化交流プラザ「スワン」視察

平成9年に総事業費約32億8千万円（うち電源三法交付金約31億9千万円）を投入して開設されたもので、海外の技術者

### 【六ヶ所村の概要】（ ）内は幌延町の数値

面積	253.01km <sup>2</sup> (574.51km <sup>2</sup> )
人口	11,765人(2,771人)〔H18.8.31現在〕
財政	H18一般会計当初予算概数 107億円(41億円)
就業人口	第1次産業 957人 13.9%(374人、23.4%)・第2次産業3,073人 44.7%(325人、20.3%) 第3次産業2,836人 41.3%(901人、56.3%)
農業	農家数320戸うち専業263戸(114戸、専業107戸) 畜産 乳用牛4,140頭、肉用牛2,180頭(乳10,405頭、肉324頭)
工業	事業所数15、従業者数2,559人、製造品出荷額1,057億円(事2・従112人、額165億円)
商業	事業所数125、従業員数509人、年間販売額125億円(事34・従126人、35億円)